

報道関係各位

<お問い合わせ先>

ベトナム国立交響楽団

広報担当(ニューヨーク)／松井・高橋

vnsoustour2011@gmail.com

www.vnsou.org.vn (英語・ベトナム語)



ベトナム国立交響楽団 初・アメリカコンサートツアー

Vietnam National Symphony Orchestra First Harmony Tour to the USA 2011

<プロジェクト概要>

10 年来のコラボレーションを続けているベトナム国立交響楽団と同団の音楽監督・首席指揮者の本名徹次氏が、かねてからの夢であったアメリカコンサートツアーを実現させます。

公演は2公演で、世界のクラシック音楽界の殿堂・ニューヨークのカーネギーホール(2011年10月23日(日)午後2時)と、ボストンのボストン・シンフォニーホール(2011年10月24日(月)午後8時)にて行います。

ベトナムからは、本名氏と楽団員・スタッフが総勢約90名で来米します。

演奏曲目は、ベトナム人作曲家・ダム・リンによるバイオリン協奏曲に加え、米中枢同時テロの追悼式典や、ベトナム戦争を舞台に反戦・平和をテーマとした映画「プラトーン」で使われたアメリカ人作曲家・バーバーの名曲などを演奏します。

なお、同楽団は本名氏とともに2011年4月にハノイにて、東日本大震災の復興支援としてチャリティー公演「Be Strong, Japan」を行っており、今回のコンサートツアーでも東日本大震災復興支援として、会場に募金箱を設置し、本名氏の出身地であり、当コンサートにも協力を行ってきた福島県郡山市の商工会議所を通じて、被災地の子どもの音楽活動のために寄付を行う予定です。

このベトナム国立交響楽団のアメリカコンサートツアーの実現に際し、日本の多くの企業や国際交流基金、地方市民団体などが支援しており、まさに、ベトナム、アメリカ、日本の三か国間の国際交流のプロジェクトであるといえます。

また、本名氏は、日本とベトナムの文化交流の促進に貢献してきたことを評価され、2011年9月に外務大臣賞を受賞されています。

どうかこの歴史的な機会をお見逃しなく。国の在り方の違いを超え、音楽を通じた平和への祈りを、ぜひとも肌で感じて頂きたい、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

■ コンサート内容

<日程・場所>

(1) ニューヨーク公演

-日時: 2011年10月23日(日)午後2時

-会場:

カーネギーホール スターン・オーデトリウム・ペレルマン・ステージ

57th Street and Seventh Avenue, New York, NY 10019

tel.+1-212-247-7800 www.carnegiehall.org

-料金: \$60/\$40/\$25 (学生・シニアは50%割引。チケット窓口でIDを提示して下さい)

(2) ボストン公演

-日時: 2011年10月24日(月)午後8時

-会場:

ボストンシンフォニーホール

301 Massachusetts Avenue, Boston, Massachusetts

tel.+1-888-266-1200 www.bostonsymphonyhall.org

-料金: \$55/\$35/\$25 (学生・シニアは50%割引。チケット窓口でIDを提示して下さい)

<プログラム>

-バーバー 弦楽のためのアダージョ

-ダム・リン バイオリン協奏曲「タンロン」

-ドヴォルザーク 交響曲第8番

<主催>

ベトナム政府文化スポーツ観光省

ベトナム国立交響楽団

<協賛>

トヨタ・ベトナム、NTTベトナム、国際交流基金、サイゴン・インベスト、タン・ミイ・デザイン

郡山アーバンロータリークラブ、郡山商工会議所、うつくしまふくしまベトナム文化交流協会

<後援>

在アメリカベトナム大使館、在越日本大使館、在サンフランシスコベトナム総領事館、

在ボストン日本国総領事館

■ ベトナム国立交響楽団 プロフィール



撮影・小島竜生

ベトナム国立交響楽団の前身は1959年にさかのぼる。現在、10年以上にもわたって音楽監督・首席指揮者である本名徹次氏の指導により、プロ集団として育成されている。同楽団は現在年間約60公演を行い、レパートリーは古典音楽、ロマン派、また現存するベトナム人作曲家の曲を含む現代音楽と幅広い。技術・意識レベルにおける同楽団のめざましい進歩は、ベトナム国内の音楽愛好者、メディア、批評家、音楽業界において高く評価されている。

同楽団はベトナムにおける音楽大使として、数々の重要イベントに参加している。2003年、日越国交30周年、またアジア日本国交年の記念行事の一環として、多くのコンサートを行った。同年3月、大阪シンフォニカー交響楽団がベトナムを訪問し、ハノイ・オペラハウスにてベトナム交響楽団と共演した。2005年3月、同楽団とドイツのデュビンゲン・チャンバー・オーケストラが、エミルソン氏の指揮により、ゲーテ・インスティテュート協賛によるジョイントコンサートを行った。近年は、日本大使館、オランダ大使館、オーストリア大使館、ドイツ大使館、ゲーテ・インスティテュート、フランス文化センター（レスパス）など、国際的な外交の場におけるメンバーとして、多くのコンサートやイベントに参加しており、ベトナムと他国との友好のための重要な役割を担っている。

国際的な活動としては、2000年同楽団は指揮者の福村芳一氏とともに、北京、上海、広州、広西の中国の4都市をまわる初の海外ツアーを行った。2003年9月、ラオスとタイにて同地域出身である指揮者グラハム・ストクリフ氏とともに公演を行った。2003年10月、同楽団は中国の南寧をコリン・メーターズ氏と、2004年10月、アジア・オーケストラ・ウィーク・フェスティバルの一環として本名徹次氏とともに東京・大阪で公演を行った。これらの演奏はメディアにおいて批評家や音楽コミュニティから成功であったとみなされ、同楽団が国際的な評価に至るまでの緩やかな過程において偉大な進歩をとげているとして賞賛された。なかでも、2008年5月、再び日本において、本名氏の指揮のもと、100万人以上の観客を魅了した東京のクラシック音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ」に参加し、12,000人に向けて、5公演を行った。とりわけ、5月3日のコンサートは4300人の観客を魅了した。このコンサートツアーは批評家、音楽業界から、非常に成功であったとされ、オーケストラの地域・国際基準で大きな進歩を示すものとして、高い評価を受けた。

また、2010年10月、マーラー生誕150年とベトナム・ハノイ遷都1000年を記念する年であることから、マーラーの交響曲第8番「千人の交響曲」を本名氏の指揮のもと、ベトナム初演。

なお、同楽団は本名氏とともに、2011年4月にハノイにて、東日本大震災の復興支援としてチャリティー公演「Be Strong, Japan」を行っている。

■ 指揮者 本名徹次氏プロフィール



撮影・小島竜生

山田一雄、井上道義の両氏に師事。東京国際音楽コンクール最高位、トスカニーニ国際指揮者コンクール第2位、ブダペスト国際指揮者コンクール第1位を受賞するほか、09年ベトナムの日本大使館より大使賞、2010年ベトナム作曲科協議会賞、2011年外務大臣賞などを受賞。

94年以降、プラハ放送交響楽団、ハンガリー国立交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ザルツブルグ・モーツァルテウム管弦楽団、上海フィル等を指揮。06年にはプラハ放送交響楽団の日本公演を行い、好評を博した。最近ではミラノ・ムジカ現代音楽祭2009のオープニングコンサートでミラノ・スカラ座管を指揮。また2010年10月にはハノイ遷都1000年祭を記念し、マーラー交響曲第8番を指揮した。

95年～01年、大阪シンフォニカー交響楽団常任指揮者を務め、98年～01年は名古屋フィルハーモニー交響楽団の客演常任指揮者も兼務。また2003年1月から2011年4月までオーケストラ・ニッポニカ音楽監督として現代音楽の指揮に意欲的に取り組むなど、日本人作曲家の系譜も網羅する。近年はオペラ指揮にも積極的で、その手腕が高く評価されている。

2009年2月、2001年よりミュージック・アドヴァイザー兼指揮者を務めていたベトナム国立交響楽団の音楽監督・首席指揮者に就任。

後援会ホームページ <http://www.bocca-lupo.com/>

■ バイオリニスト レ・ホアイ・ナム氏 プロフィール



ハノイ生まれ。7才のときに、ハノイ国立芸術学院に入学し、香港アカデミーオブ・パフォーマンス・アーツにてマイケル・マー氏に師事。ソリストとして、香港シンフォニエッタ、ベトナム・ナショナル・オペラ・アンド・バレエ・オーケストラ、ハノイ室内管弦楽団、香港アカデミーオブ・パフォーマンス・アーツ・オーケストラと共演。またベトナム国立交響楽団とアジア室内管弦楽団のコンサートマスターとして客演。現在、香港アカデミーオブ・パフォーマンス・アーツにて教鞭をとり、香港シンフォニエッタの第二バイオリン首席奏者。

郡山市出身者が音楽監督▽ベトナム国立交響楽団

米国公演 古里が後押し

郡山市出身の指揮者本名徹次さん(53)が音楽監督を務めるベトナム国立交響楽団が今年、初の米国公演を開催することになり、古里・郡山市の有志が支援に乗り出した。楽団の財政事情が厳しく、郡山商工会議所などでつくる支援団体が募金活動を展開した。楽団はベトナム戦争による打撃から立ち直った歴史があるだけに、米国公演への思い入れは強く、「ぜひ成功させたい」と日本からの支援を喜んでいる。

公演は米国の名門オーケストラ、ニューヨーク・フィルが、政府や現地企業からの資金協力は乏しく、1月の渡米年10月のベトナム公演の返礼として企画された。01年から音楽顧問を務め、09年に音楽監督兼首席指揮者に就任した本名さんがタクトを振る。ベトナム国立交響楽団が欧

商議所などが支援団体

支援の動きは、郡山商議所の丹治一郎会頭らが昨年10月にベトナムを訪問した際、楽団の資金難を知ったのがきっかけ。本名さんの地元として応援しようと、有志で「ベトナム国立交響楽団アメリカ公演を支援する会」を発足させた。11月下旬から協力を呼び掛けたところ、1カ月間に100万円を超える企業や団体、個人から計350万円が寄せられ、別の文化交流団体も80万円を集めた。

募金430万円贈る



本名さん(右)に支援金を手渡す丹治会頭(中央)

作曲家の楽曲に加え、ベトナム戦争を描いた映画「プラトーン」で使われた米国人作曲家ハーバーの「弦楽のためのアダージョ」も演奏したいという。本名さんは「ベトナムの楽団にとって米国と(旧宗主国)フランスで演奏するのは夢。公演はベトナムと米国の文化交流の象徴的なものになり、指揮が日本人の私で本当にいいのかという思いもある。大役だが、いつものベトナムの音が米国で鳴り響けば幸せだ」と話している。

ひと

ハノイ建都1000年で「千人の交響曲」を指揮する

本名 徹次 さん(53)



演奏旅行で初めてハノイを訪れた10年前、ベトナム国立交響楽団の同じ年の団員に懇願された。「Help us(助けて)」。そのひと言が、数々の国際コンクールで入賞した実力派の人生を変えた。翌年、公演2回の指揮を約束し、翌年、公演に臨んだ。演奏は散々だった。コンサートマスターは技術をひけらか

し、団員は仲間の音を聞かない。「みんなバラバラで、オーケストラの体をなしてはなかった」練習の時間を守らない。楽器や楽譜を粗末に扱う。ティンパニがパーンとくぐぐぐと響かない。見ると「屋敷」になる。「恥ずかしくな

いのか、と怒鳴りました」だが、どんなに声を荒らげても「どしどし悪いか教えてくれ」と食いつくまる。紡ぎ出す音は自由で個性的。「理屈や概念がなく、音楽を心底楽しんでる。ハラハラしながら聴いていると、時々うまく合

い、素晴らしい音が生まれる」。5年前に拠点をハノイに移し、昨年、音楽監督兼首席指揮者になった。

ピアニストの小山実稚恵さんやタリスタの村治佳織さん、指揮者の金野響さんらが次々客演に応じてくれた。「ギヤラは満足に払えないけど、食事や買物物が楽しめるよ、って甘い言葉で誘ったんです」

23日、ハノイ建都1000年を記念してマラーの「千人の交響曲」に挑む。来年1月の米國初公演も決まった。無名のオーケストラを世界にデビューさせるという夢に、一歩近づいた。 文・写真 藤谷健

ベトナムより 愛をこめて

大震災チャリティー公演



本名徹次(右)率いるベトナム国立交響楽団と共演した田村響(左) =Le Khanh氏撮影

ベトナム国立交響楽団が8、9日、東日本大震災の被災者を支援するため、本拠地のハノイで「Be Strong, Japan(強くなれ、日本)」と題するチャリティー公演を開いた。

同楽団の音楽監督と首席指揮者は、本名徹次。今回の東日本大震災では、福島県郡山市の本名の実家も被災した。

演奏会では、ベトナムの国民的作曲家ド・ホン・クワンが震災後に日本のために作詞作曲した歌「ベトナムより愛をこめて」に続き、オーストリア在住のピアニスト田村響が駆けつけてラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を演奏した。最後は、シューマンの交響曲のなかでもとりわけ晴れやかな響きの第9番で締めくくった。

ハノイでは街を走るごみ収集車に日の丸が描かれている。遺跡の発掘作業、楽器提供など、街の発展に日本が貢献してきたことが国民に広く知られているという。

今回のコンサートでは、楽員だけでなく、子どもたちも小遣いをかき集めて封筒に入れ、本名に手渡した。収益は日本大使館を通じて日本赤十字社に寄付されたという。

本名は「ベトナムの人たちが日本という国をどれだけ愛し、友人として心配してくれているか改めて認識した。人間のすばらしさに日々出あっている。幸せすら感じさせてもらっている」と語った。

(吉田純子)

◆ 本名徹次氏 外務大臣賞受賞ニュース (梶本音楽事務所ホームページより)

2011.9.12(Mon)

◆本名徹次、外務大臣表彰を受賞！

ベトナム国立交響楽団の音楽監督と首席指揮者を務める本名徹次が、日本とベトナムの文化交流の促進に貢献したことを評価され、外務大臣表彰を授与されました！

今年7月、外務省の飯倉公館（東京）にて同表彰の授与式が催されましたが、ベトナムでの公演のためこれを欠席した本名に、去る9月9日、谷崎泰明氏（駐ベトナム日本国特命全権大使）より同表彰の賞状が手渡されました。



写真：在ベトナム日本大使館にて
左から（敬称略）

安藤彩英子（漆絵作家）／本名徹次／グオ・マイ・アイン（ベトナム国立響コンサート・ミストレス）／谷崎泰明（駐ベトナム日本国特命全権大使）／レ・ホアン・ラン（ベトナム国立響コンサート・マスター）／ド・スアン・タン（ハノイ・フィルハーモニック フォアシュピラー）

外務大臣表彰は、国際関係の諸分野での活躍を通じて日本と諸外国の友好親善関係の増進に多大な貢献をし、顕著な功績を残した個人および団体を称えるものです。

本名は、2001年よりベトナム国立交響楽団のミュージック・アドバイザー兼指揮者を務め、2009年に同楽団の音楽監督・首席指揮者に就任。翌年にはハノイ遷都1000年祭を記念し、ハノイにて同楽団とともにマーラーの交響曲第8番を演奏しました。
これまで本名は、2009年に在ベトナム日本大使館より大使賞を、2010年にベトナム作曲家協議会賞をそれぞれ受賞しております。

今後も本名徹次の活動にご注目いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

◆ kyodo news 2011年9月29日 日本全国紙に配信予定 (別添資料をご覧ください)

■ 各サイト案内

- ベトナム国立交響楽団 www.vnsso.org.vn (英語／ベトナム語)
- <http://www.facebook.com/VNSO.UStour2011> (英語)
- http://twitter.com/VNSO_UStour2011 (英語)

■ お問い合わせ

ベトナム国立交響楽団に関するお問い合わせは、広報担当(ニューヨーク)／松井・高橋まで、メールにてお願いいたします。 vnsso.ustour2011@gmail.com (日本語／英語)

また、同楽団の今回のアメリカコンサートツアーの資金支援について、ご連絡を下記まで承っております。

vnsso.usa2011@yahoo.com (日本語／英語)